

◎ 甘歳に祝う

石狩の市制は1996年、北海道で34番目に施行され、今年で20周年を迎えた。まちの発展に尽くされた先人に思いを馳せ、感謝と未来への希望を確認する大切な節目の年である。

▼私たちは折りにつけ「20」という数詞に触れることがある。その代表的なものとしては成人であり、何か意味することがあると考える。「立派になつたね」の周囲の言葉の中に万感の思いを読み取ることができる。▼なぜなのか理由は分からないが、鮭の尾数を数える時に20尾をもつて一束とする。ちなみに甘歳(ハタチ)は、和語の「ハタ」はフタツのフタ、「チ」は10のこととする説がある。和語の数詞は「トオ」までである(『数え方の日本史』三保忠夫著)、とすると二十歳「ハタトセ」はトオが二つ重なりハタとなる。私たちの使う言葉は和語のヒー・フーミーとイチニ・サンを感覚的に使い分けており、多様性のある言語文化であることを伺い知ることができる。▼共に20年を迎えた市内団体もある。このまちの変わりようを私は少し自慢げに胸をぞらしながら申し上げたい。市民の社会参加率は全国に誇れるものだと。二十年の歩みは人を老いへと誘うが、マインドをセットした意識人の足跡は数えきれない。この祝年にあたり改めて感謝を表したい。(市長)

広告